第1部物体の運動とエネルギー

第1章 物体の運動

→ p.14~53

問1 電車の速さ $v_A[m/s]$ は、

$$v_{\rm A} = \frac{500 \text{ m}}{40 \text{ s}} = 12.5 \text{ m/s} = 13 \text{ m/s}$$

短距離走者の速さ $v_B[m/s]$ は、

$$v_{\rm B} = \frac{100}{10} = 10 \text{ m/s}$$

よって、電車のほうが速い。

答 電車

問 2 求める平均の速さをvとすると、

$$v = \frac{150 \text{ m}}{30 \text{ s}} = 5.0 \text{ m/s}$$
$$v = \frac{0.15 \text{ km}}{\left(\frac{30}{3600}\right) \text{h}} = 18 \text{ km/h}$$

答 5.0 m/s, 18 km/h

問3 自転車の速さをv[m/s]とすると、

$$v = \frac{75 \text{ m}}{30 \text{ s}} = 2.5 \text{ m/s}$$

また、この自転車が50s間に進む距離をx[m]とすると、

$$x=2.5 \text{ m/s} \times 50 \text{ s} = 125 \text{ m} = 1.3 \times 10^2 \text{ m}$$

答 2.5 m/s, 1.3×10² m

問 4 物体の速さを v[m/s] とすると,

$$v = \frac{24 \text{ m}}{12 \text{ s}} = 2.0 \text{ m/s}$$

答 2.0 m/s

問 5 東向きを正とすると、自動車Aの速度は東向きだから 20 m/s、自動車Bの速度は西向きだから -25 m/s となる。

答 A: 20 m/s, B: -25 m/s

問6 求める変位を $\Delta x[m]$ とすると、

$$\Delta x = 5.0 \text{ m} - 2.0 \text{ m} = 3.0 \text{ m}$$

答 3.0 m, x軸の正の向き

問7 東向きを正として、求める平均の速度を \overline{v} [m/s]とすると、

$$\bar{v} = \frac{200 \text{ m} - 50 \text{ m}}{20 \text{ s} - 10 \text{ s}} = 15 \text{ m/s}$$

答 15 m/s

問8 (1) Aの速度を v_A [m/s], Bの速度を v_B [m/s], Cの速度を v_C [m/s] とすると,

$$v_{\rm A} = \frac{6.0 \text{ m} - 3.0 \text{ m}}{2.0 \text{ s} - 1.0 \text{ s}} = 3.0 \text{ m/s}$$

$$v_{\rm B} = \frac{5.0 \text{ m} - 3.0 \text{ m}}{3.0 \text{ s} - 1.0 \text{ s}} = 1.0 \text{ m/s}$$

$$v_{\rm c} = \frac{5.0 \text{ m} - 6.0 \text{ m}}{3.0 \text{ s} - 2.0 \text{ s}} = -1.0 \text{ m/s}$$

答 A:3.0 m/s. B:1.0 m/s. C:-1.0 m/s

(2) Aの速度 v_A =3.0 m/s, Bの速度 v_B =1.0 m/s, C の速度 v_C =-1.0 m/s より,

$$x_A = 3.0 \text{ m/s} \times t[s] = 3.0t[m]$$

$$x_{\rm B} = 2.0 \,\mathrm{m} + 1.0 \,\mathrm{m/s} \times t(\mathrm{s}) = 2.0 \,\mathrm{m} + 1.0 t(\mathrm{m})$$

$$x_c = 8.0 \text{ m} - 1.0 \text{ m/s} \times t \text{ [s]} = 8.0 \text{ m} - 1.0 t \text{ [m]}$$

答
$$x_A=3.0t$$
 [m], $x_B=2.0$ m+1.0 t [m], $x_C=8.0$ m-1.0 t [m]

問9 川下に向かう向きを正の向きとして、求める船の速度をv[m/s]とすると、

$$v=5.0 \text{ m/s}+2.0 \text{ m/s}=7.0 \text{ m/s}$$

答 川下に向かって 7.0 m/s

また、川下に向かう向きを正の向きとして、求める船の速度をv'[m/s]とすると、

$$v' = (-5.0 \text{ m/s}) + 2.0 \text{ m/s} = -3.0 \text{ m/s}$$

答 川上に向かって 3.0 m/s

問 10 川の流れの速さをv [m/s],静水時の船の速さをV[m/s]とする。

船が川上に向かうとき、川上に向かう向きを正の向き として.

$$3.0 \text{ m/s} = V - v \quad \cdots \text{ }$$

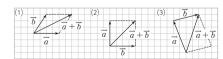
船が川下に向かうとき、川下に向かう向きを正の向き として、

$$6.0 \text{ m/s} = V + v \quad \cdots \quad 2$$

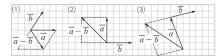
(答) 1.5 m/s

p.23 レベル UP ベクトルの扱い方と速度

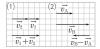
問i



問ii



問 iii



問iv (1)x:2. y:4. 大きさ: $2\sqrt{5}$

(2)x:-4, y:3, 大きさ:5

 $(3) x : 4, y : 2, 大きさ: 2\sqrt{5}$

問 11 東向きを正とする。Aに対するBの相対速度 v_{AB} [km/s]は、

 $v_{AB} = 50 \text{ km/h} - 40 \text{ km/h} = 10 \text{ km/h}$

Cに対するBの相対速度 $v_{CB}[km/s]$ は、

 $v_{\rm CB} = 50 \, \text{km/h} - 60 \, \text{km/h} = -10 \, \text{km/h}$

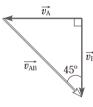
答 東向きに 10 km/h, 西向きに 10 km/h

p.25 特集 相対速度 東, (a)60, 30, 30, 東, 30, (b)30, 60, -30, 西, 30 (または 西, (a)-60, -30, -30, 東, 30, (b)-30, -60, 30, 西, 30)

類題 1 北向きを正として、求める速度を v[km/h] とすると、

類題 i A さんの速度を $\overrightarrow{v_{A}}$, 地面に対する風の速度を $\overrightarrow{v_{B}}$, A さんに対する風の速度を $\overrightarrow{v_{AB}}$ とすると,

 $\overrightarrow{v_{\rm AB}} = \overrightarrow{v_{\rm B}} - \overrightarrow{v_{\rm A}}$ となる。 $\overrightarrow{v_{\rm AB}}$ は北西の風だから, $\overrightarrow{v_{\rm B}}$ とな す角は 45° である。したがって,図のような関係になり, $\overrightarrow{v_{\rm B}}$ の大きさは $5.0~{\rm m/s}$, $\overrightarrow{v_{\rm AB}}$ の大きさは.

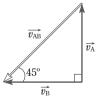


$$5.0\sqrt{2} \text{ m/s} = 7.05 \cdots \text{m/s} = 7.1 \text{ m/s}$$

答 5.0 m/s, 7.1 m/s

類題 ii $^{\circ}$ 船 $^{\circ}$ A $^{\circ}$ の速度を $\overset{\circ}{v_{\mathrm{A}}}$ 、船 $^{\circ}$ B の速度を $\overset{\circ}{v_{\mathrm{B}}}$ 、 $^{\circ}$ A $^{\circ}$ ら見た $^{\circ}$ B の速度を $\overset{\circ}{v_{\mathrm{AB}}}$ とすると,

 $\overrightarrow{v_{\mathrm{AB}}} = \overrightarrow{v_{\mathrm{B}}} - \overrightarrow{v_{\mathrm{A}}}$ となる。また,A とBの速さは同じだから,図のような関係になる。したがって, $\overrightarrow{v_{\mathrm{AB}}}$ は南西向きで,その大きさは,



 $10\sqrt{2}$ m/s \rightleftharpoons 14 m/s

答 南西向きに 14 m/s

問 12 自動車Aの加速度の大きさを $a_A[m/s^2]$ とすると、

$$a_{\rm A} = \frac{12 \text{ m/s}}{6.0 \text{ s}} = 2.0 \text{ m/s}^2$$

自動車Bの加速度の大きさを $a_R[m/s^2]$ とすると、

$$a_{\rm B} = \frac{20 \text{ m/s} - 8 \text{ m/s}}{8.0 \text{ s}} = 1.5 \text{ m/s}^2$$

答 A: 2.0 m/s^2 , B: 1.5 m/s^2

問 13 x軸の正の向きを正とし、求める平均の加速度を $a[m/s^2]$ とすると、

$$a = \frac{1.0 \text{ m/s} - 6.0 \text{ m/s}}{3.0 \text{ s} - 1.0 \text{ s}} = -2.5 \text{ m/s}^2$$

答 x軸の負の向きに 2.5 m/s^2

問 14 東向きを正とし、自動車の加速度を a [m/s²] とすると、

$$a = \frac{20 \text{ m/s} - 10 \text{ m/s}}{5.0 \text{ s}} = 2.0 \text{ m/s}^2$$

答 東向きに 2.0 m/s²

問 15 加速している間に進んだ距離を x[m] とすると、

$$x=10 \text{ m/s} \times 4.0 \text{ s} + \frac{1}{2} \times 3.0 \text{ m/s}^2 \times (4.0 \text{ s})^2$$

= 64 m

問 16 求める加速度の大きさを $a[m/s^2]$ とすると,

$$7.0 \times 10^3 \,\mathrm{m} = \frac{1}{2} \times a \times (1.0 \times 10^2 \,\mathrm{s})^2$$

$$\therefore a = \frac{2 \times 7.0 \times 10^3 \text{ m}}{1.0 \times 10^4 \text{ s}^2} = 1.4 \text{ m/s}^2$$

最高速度の大きさをv[m/s]とすると、

 $v = 1.4 \text{ m/s}^2 \times 1.0 \times 10^2 \text{ s} = 1.4 \times 10^2 \text{ m/s}$

答 1.4 m/s², 1.4×10² m/s

問 17 (1) 列車が進む向きを正として、列車の加速度を $a[m/s^2]$ とすると、

$$(20 \text{ m/s})^2 - 0^2 = 2 \times a \times 400 \text{ m}$$

 $\therefore a = -0.50 \text{ m/s}^2$

答 進む向きと逆向きに 0.50 m/s²

(2) 求める時間を t[s]とすると、

0=20 m/s+(-0.50 m/s²)×t ∴
$$t$$
=40 s
 $\stackrel{\textstyle \star}{}$ 40 s

問 18 最も離れたときの時刻を t[s]とし、斜面に沿って上向きを正とすると、

$$0 \text{ m/s} = 2.0 \text{ m/s} - 2.5 \text{ m/s}^2 \times t$$

$$t = \frac{2.0 \text{ m/s}}{2.5 \text{ m/s}^2} = 0.80 \text{ s}$$

元の位置に戻った時間は、0.80 s×2=1.6 s

答 0.80 s, 1.6 s

類題 2 (1) 例題 2 σ (3)より、A σ 位置 x_A [m]とB σ 位置 x_B [m]は、

$$x_A=5.0 \text{ m/s} \times t \quad \cdots \text{ }$$

$$x_{\rm B} = \frac{1}{2} \times 0.50 \,\text{m/s}^2 \times t^2$$

$$=0.25 \text{ m/s}^2 \times t^2 \quad \cdots (2)$$

AとBとの間の距離をx[m]とすると、

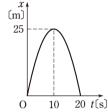
$$x = x_A - x_B \quad \cdots \quad \Im$$

式③に式①と式②を代入すると、

$$x=5.0 \text{ m/s} \times t - 0.25 \text{ m/s}^2 \times t^2$$

$$=-0.25 \text{ m/s}^2 \times (t-10 \text{ s})^2 + 25 \text{ m}$$

したがって、xは図のような 放物線となり、t=10s のと きxは最大となる。



答 10 s

(1) 別解 時刻 t[s] における A の速度 $v_A = 5.0 \text{ m/s}$, B の速度 $v_B = 0.50 \text{ m/s} \times t$

よって、Bに対するAの相対速度 v_{BA} [m/s]は、

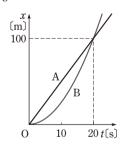
$$v_{\text{BA}} = v_{\text{A}} - v_{\text{B}} = 5.0 \text{ m/s} - 0.50 \text{ m/s} \times t$$

= 0.50 m/s × (10 s - t)

ゆえに、t<10s のとき、 $v_{\rm BA}$ >0 で、Bに対して A は遠ざかる。t>10s のとき、 $v_{\rm BA}$ <0 で、Bに対してAは近づく。

AとBとの間の距離が最も大きくなるのは、相対速度が0になるときで、t=10s

(2) A と B の x-t グラフは、 上の式①、②より、右のようになる。



類題 3 (1) 小球が再び原点を通過する時刻を t'[s] とすると,

$$0 \text{ m} = 0.60 \text{ m/s} \times t' + \frac{1}{2} \times (-0.20 \text{ m/s}^2) \times t'^2$$

よって、0=0.10t'(6.0s-t')

t' \neq 0 s より、t' = 6.0 s

このときの小球の速度を v[m/s]とすると,

$$v = -0.20 \text{ m/s}^2 \times 6.0 \text{ s} = -0.60 \text{ m/s}$$

答 6.0 s, -0.60 m/s

(2) 時刻 t[s] のときの、小球の速度 v[m/s] と位置

x[m]は以下の式で表せる。

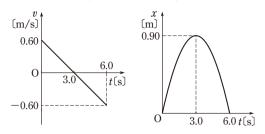
$$v = 0.60 \text{ m/s} - 0.20 \text{ m/s}^2 \times t$$

$$x = 0.10 \text{ m/s}^2 \times t (6.0 \text{ s} - t)$$

また、時刻が0sと6.0sのとき、それぞれの値は以下のようになる。

$$t=0$$
s のとき、 $v=0.60\,\mathrm{m/s}$ 、 $x=0\,\mathrm{m}$

$$t=6.0 \text{ s}$$
 のとき、 $v=-0.60 \text{ m/s}$ 、 $x=0 \text{ m}$

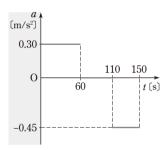


問 19 列車の加速度 $a[m/s^2]$ を求めると、

$$0 \sim 60 \text{ s}$$
: $a = \frac{18 \text{ m/s} - 0 \text{ m/s}}{60 \text{ s} - 0 \text{ s}} = 0.30 \text{ m/s}^2$

$$60 \sim 110 \text{ s}$$
: $a = \frac{18 \text{ m/s} - 18 \text{ m/s}}{110 \text{ s} - 60 \text{ s}} = 0 \text{ m/s}^2$

110~150 s:
$$a = \frac{0 \text{ m/s} - 18 \text{ m/s}}{150 \text{ s} - 110 \text{ s}} = -0.45 \text{ m/s}^2$$



 $t=0\sim60$ s での時刻 t[s]のときの列車の位置 x[m] を求めると、

$$-\frac{1}{2} \times 0.30 \text{ m/s}^2 \times t^2 = -0.15 \text{ m/s}^2 \times t^2$$

t=60s のときの列車の位置は、

$$-0.15 \text{ m/s}^2 \times (60 \text{ s})^2 = 540 \text{ m}$$

 $t=60\sim110$ s での時刻 t[s]のときの列車の位置 x[m]を求めると、

$$x = 18.0 \text{ m/s} \times (t - 60 \text{ s}) + 540 \text{ m}$$

$$=18.0 \text{ m/s} \times t - 540 \text{ m}$$

t=110s のときの列車の位置は、

 $18.0 \text{ m/s} \times 110 \text{ s} - 540 \text{ m} = 1440 \text{ m}$

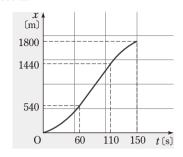
 $t=110\sim150$ s での時刻 t[s]のときの列車の位置 x[m]を求めると、

$$x = \frac{1}{2} \times (-0.45 \text{ m/s}^2) \times (t - 110 \text{ s})^2$$

 $+18.0 \text{ m/s} \times (t-110 \text{ s}) + 1440 \text{ m}$

= $-0.225 \text{ m/s}^2 \times t^2 + 67.5 \text{ m/s} \times t - 3262.5 \text{ m}$ t = 150 s のときの列車の位置は、

 $-0.225 \text{ m/s}^2 \times (150 \text{ s})^2 + 67.5 \text{ m/s} \times 150 \text{ s} - 3262.5 \text{ m}$ = 1800 m



問 20 求める時間を t[s]とすると,

$$4.9 \text{ m} = \frac{1}{2} \times 9.8 \text{ m/s}^2 \times t^2$$

$$t^2 = \frac{2 \times 4.9 \text{ m}}{9.8 \text{ m/s}^2} = 1.0 \text{ s}^2$$
 $t > 0 \text{ J} \text{ 0}, t = 1.0 \text{ s}$

求める速さをv[m/s]とすると、

 $v = 9.8 \text{ m/s}^2 \times 1.0 \text{ s} = 9.8 \text{ m/s}$

答 1.0 s, 9.8 m/s

問 21 (1) 求める速さを v[m/s]とすると,

 $v=5.0 \text{ m/s}+9.8 \text{ m/s}^2 \times 2.0 \text{ s}=24.6 \text{ m/s}$

≒25 m/s

答 25 m/s

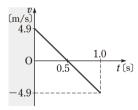
(2) 求める高さを y[m]とすると、

$$y=5.0 \text{ m/s} \times 2.0 \text{ s} + \frac{1}{2} \times 9.8 \text{ m/s}^2 \times (2.0 \text{ s})^2$$

=29.6 m≒30 m

答 30 m

類題 4 (1) $v=4.9 \text{ m/s}-9.8 \text{ m/s}^2 \times t$ となる。



(2) 求める時刻を t[s]とする。鉛直上向きを正として, $0 \text{ m} = 4.9 \text{ m/s} \times t - \frac{1}{2} \times 9.8 \text{ m/s}^2 \times t^2$

 $t \neq 0$ s より、t = 1.0s

また、初めの位置に戻るときの速度を v[m/s]とすると、

 $v = 4.9 \text{ m/s} - 9.8 \text{ m/s}^2 \times 1.0 \text{ s} = -4.9 \text{ m/s}$

答 1.0 s, 鉛直下向きに 4.9 m/s

(3) 物体の高さについては、最高点に達する時刻の前後で対称的である。投げ上げてから 0.30 s 後は、

最高点に達する 0.20 s 前なので、同じ高さを通過 する時刻は、

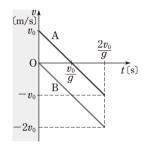
$$0.50 s + 0.20 s = 0.70 s$$

答 0.70 s

問 22 物体Aは鉛直投げ上げ、物体Bは自由落下だから、物体Aの速度 v_A [m/s]、物体Bの速度 v_B [m/s]は、鉛直上向きを正、重力加速度の大きさをg[m/s²]として、

$$v_{\rm A} = v_{\rm 0} - gt$$
 $v_{\rm B} = -gt$

また、 $v_{\rm A}$ =0 のとき、 $t=\frac{v_0}{g}$ [s]となり、グラフは 以下のようになる。



類題i 物体Aと物体Bは鉛直方向には自由落下と同 じ運動をし,水平方向には等速度運動をする。

Aが地面に達するまでの時間を t[s]とすると、

$$2.0 \text{ m/s} \times t = 1.2 \text{ m}$$
 : $t = 0.60 \text{ s}$

Aが地面に達するまでの時間とBが地面に達するまでの時間は同じである。よって、求める距離をx[m]とすると、

$$x=5.0 \text{ m/s} \times 0.60 \text{ s} = 3.0 \text{ m}$$

答 3.0 m

類題 ii (1) 最高点では鉛直方向の速度が 0 になる。 鉛直上向きを正として,投げ出した点から最高点ま での高さを h [m] とすると.

$$(0 \text{ m/s})^2 - (9.8 \text{ m/s} \times \sin 30^\circ)^2$$

$$=2\times(-9.8 \text{ m/s}^2)\times h$$

 $\therefore h = 1.225 \text{ m}$

したがって、最高点の地面からの高さは、

1.225 m + 9.8 m = 11.025 m = 11.0 m

答 11.0 m

(2) 求める時間を時間をt[s]とする。鉛直上向きを正とすると、

$$-9.8 \text{ m} = (9.8 \text{ m/s} \times \sin 30^{\circ}) \times t$$

$$-\frac{1}{2}$$
 × 9.8 m/s² × t^2

整理すると、(t-2.0 s)(t+1.0 s)=0

t>0 より、t=2.0s

答 2.0 s 後

(3) 水平方向には等速度運動をする。よって、求める 距離をx[m]とすると、

 $x=9.8 \text{ m/s} \times \cos 30^{\circ} \times 2.0 \text{ s} = 16.9 \dots \text{ m} = 17 \text{ m}$

答 17 m

p.52 章末問題 —

1 (1) エレベーターが動き出してから 5.0 s 後に速度は最大となる。鉛直上向きを正として 5.0 s 後の速度を v[m/s]とすると、

 $v = 1.2 \text{ m/s}^2 \times 5.0 \text{ s} = 6.0 \text{ m/s}$

答 6.0 m/s

(2) 最後の 6.0 s 間の加速度を $a \text{ [m/s}^2\text{]}$ とすると, $0 \text{ m/s} = 6.0 \text{ m/s} + a \times 6.0 \text{ s}$

 $\therefore a = -1.0 \text{ m/s}^2$

よって、求める加速度の大きさは、 $1.0 \,\mathrm{m/s^2}$

答 1.0 m/s²

(3) 初めの 5.0 s 間,次の 10 s 間,その後の 6.0 s 間に、エレベーターが上昇した距離をそれぞれ x_1 [m]、 x_2 [m]、 x_3 [m]とすると、「x=vt」、

$$\lceil x = v_0 t + \frac{1}{2} a t^2 \rfloor \, \sharp \, \emptyset$$

$$x_1 = 0 \text{ m/s} \times 5.0 \text{ s} + \frac{1}{2} \times 1.2 \text{ m/s}^2 \times (5.0 \text{ s})^2 = 15 \text{ m}$$

 $x_2 = 6.0 \text{ m/s} \times 10 \text{ s} = 60 \text{ m}$

$$x_3 = 6.0 \text{ m/s} \times 6.0 \text{ s} + \frac{1}{2} \times (-1.0 \text{ m/s}^2) \times (6.0 \text{ s})^2$$

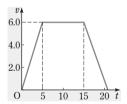
=18 m

動き出してから止まるまでにエレベーターが上昇した距離をx[m]とすると、

$$x = x_1 + x_2 + x_3 = 93 \text{ m}$$

答 93 m

解説 1 問題文で示された内容をv-tグラフに表すと考えやすい。鉛直上向きを正とすると,右のようになる。



- (1) エレベーターは、時刻 5.0 s に速さの最大値に達 する。
- (2) 加速度をv-tグラフの傾きから求めると,

$$a = \frac{0 \text{ m/s} - 6.0 \text{ m/s}}{21 \text{ s} - 15 \text{ s}} = -1.0 \text{ m/s}^2$$

となる。ただし、この設問では加速度の向きは問われていないので、大きさのみ答える。

- (3) v-t グラフと t 軸とで囲まれた台形の面積を求める。
- ② 都市Aから都市Bへ飛ぶときの速さを v_1 [km/h] とすると,

 v_1 =900 km/h-100 km/h=800 km/h よって、都市Aから都市Bへ飛ぶときに要する時間を t_1 [h]とすると、

 $4000 \, \mathrm{km} = 800 \, \mathrm{km/h} \times t_1$ ∴ $t_1 = 5.00 \, \mathrm{h}$ 同様に、都市 B から都市 A へ飛ぶときの速さを $v_2 \, \mathrm{[km/h]}$ とすると、

 v_1 =900 km/h+100 km/h=1000 km/h 都市 B から都市 A へ飛ぶときに要する時間を t_2 [h]とすると、

 $4000 \, \mathrm{km} = 1000 \, \mathrm{km/h} \times t_2$ \therefore $t_2 = 4.00 \, \mathrm{h}$ よって、都市Aから都市Bへ飛ぶときの時間は、都市Bから都市Aへ飛ぶときよりも 1.00 時間すなわち 60.0 分だけ長くかかる。

解説 2 都市AからBに向けて飛ぶときと、都市BからAに向けて飛ぶときの、ジェット機の地球(地面)に対する速度を求めてから、それぞれの場合の所要時間を求める。

3 (1) 物体の加速度を $a[m/s^2]$ とすると、グラフの傾きより、

$$a = \frac{0 \text{ m/s} - 4.0 \text{ m/s}}{10 \text{ s} - 0 \text{ s}} = -0.40 \text{ m/s}^2$$

答 $-0.40 \,\mathrm{m/s^2}$

(2) 物体のx座標が最も大きくなるのは速度が0 m/s になるとき、すなわち時刻が10 s のときである。このときのx座標を $x_1[\text{m}]$ とすると、

$$x_1 = 4.0 \text{ m/s} \times 10 \text{ s} + \frac{1}{2} \times (-0.40 \text{ m/s}^2) \times (10 \text{ s})^2$$

=20 m

答 10 s, 20 m

(3) グラフから、時刻が $0\sim10$ sまではx軸の正の向きに進み、 $10\sim15$ sまではx軸の負の向きに進むことがわかる。時刻が15sのときの物体の位置を x_2 [m]とすると、

$$x_2$$
=4.0 m/s×15 s+ $\frac{1}{2}$ ×(-0.40 m/s²)×(15 s)²
=15 m

よって、 $10 \sim 15$ s の間に物体が動いた距離 s [m] は、 $s = x_1 - x_2 = 5$ m

したがって、 $0\sim15$ s までの間に物体が移動した距離(道のり)をL[m]とすると、

$$L = x_1 + s = 25 \text{ m}$$

答 25 m

解説 3 (1) v-t グラフの傾きから求めるか, $[v=v_0+at]$ の式から求める。

- (2) 物体が運動の向きを変えるのは v=0 となるときで、そのとき正の向きの変位が最大となる。
- (3) 時刻 10 s から 15 s までの間は、物体は負の向き

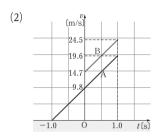
に運動することに注意する。

4 (1) 求める時間を t[s]とすると、小物体 A が水 面に達するのにかかる時間はt+1.0sと表される。 橋の上から水面までの距離をx[m]とすると、等加 速度直線運動の式より、AとBそれぞれについて、

$$x = 0 + \frac{1}{2} \times (9.8 \text{ m/s}^2) \times (t + 1.0 \text{ s})^2$$

$$x = 14.7 \text{ m/s} \times t + \frac{1}{2} \times (9.8 \text{ m/s}^2) \times t^2$$

よって.



5 気球から落下させた小物体は、地面にいる人には、 大きさ 4.9 m/s の初速度で鉛直上向きに投げ上げら れたように見える。鉛直上向きを正として、この物体 が最高点に達するまでの時間を $t_1[s]$ とすると、

$$0 \text{ m/s} = 4.9 \text{ m/s} - 9.8 \text{ m/s}^2 \times t_1 \text{ [s]}$$

∴
$$t_1$$
=0.50 s

最高点の地面からの高さを h[m]とすると、地上から の高さが98mのところから運動していることに注意 して,

h = 98 m

+
$$\left\{4.9 \text{ m/s} \times 0.50 \text{ s} - \frac{1}{2} \times 9.8 \text{ m/s}^2 \times (0.50 \text{ s})^2\right\}$$

 $=99.2 \cdots \text{ m} = 99 \text{ m}$

一方、地表に物体が達するまでに要する時間を $t_2[s]$ とすると、地上からの高さ98mのところに原点 (y=0) をとると、

$$-98 \text{ m} = 4.9 \text{ m/s} \times t_2 - \frac{1}{2} \times 9.8 \text{ m/s}^2 \times t_2^2$$

整理すると、 $(t_2-5.0 s)(t_2+4.0 s)=0$

 $t_2 > 0 \text{ \sharp 0}, t_2 = 5.0 \text{ s}$

また、このときの物体の速度をv[m/s]とすると、

 $v = 4.9 \text{ m/s} - 9.8 \text{ m/s}^2 \times 5.0 \text{ s}$

=-44.1 m/s = -44 m/s

答 99 m, 5.0 s, 鉛直下向きに 44 m/s

解説 5 この小物体の運動を地面から見ると、地面 からの高さ98mの位置から鉛直上向きに速さ4.9

m/s で投げ上げたように見える。地面からの高さ98 m の位置を原点 (y=0 m) とし、鉛直上向きに y 軸を とると、最高点のy座標h[m]は、

 $(0 \text{ m/s})^2 - (4.9 \text{ m/s})^2 = -2 \times 9.8 \text{ m/s}^2 \times h$ からも求められる。ゆえに、求める最高点の高さH[m]は、H=98 m+h として求められる。

また、小物体が地面に達するのは、y=-98 m と なるときである。

p.53 思考力を鍛える -

1 (1) 各区間の時間は全て 0.10 s であるので. 各 区間の移動距離=テープの長さ を, 時間 0.10 s で 割って、瞬間の速さを求める。

時刻[s]	0~ 0.10	0.10~ 0.20	0.20~ 0.30	0.30~ 0.40	0.40~ 0.50	0.50~ 0.60	0.60~ 0.70	0.70~ 0.80
時刻の 中央値[s]	0.050	0.15	0.25	0.35	0.45	0.55	0.65	0.75
瞬間の速さ v[m/s]	2.1	2.5	3.0	3.4	3.7	4.1	4.5	4.9

(2) (1)で求めた時刻の中央値を横軸に、各区間の瞬間 の速さを縦軸にとりグラフを描く。点がほぼ直線上 に並ぶので、できるだけ多くの点の近くを通るよう に直線を引く。テープの途中を時刻0sとしている ため, 原点を通らない。

答 3

(3) v-t グラフの傾きが加速度を示す。(2)で描いたグ ラフより, 速度は時間とともに増加するが, 傾き一 定の直線であるので物体の加速度は一定である。① は正しく, ②は誤っている。

加速度は物体にはたらく合力に比例する。加速度 が一定であるので合力は一定である。③は誤りで、 ④が正しい。

答 ①, ④